

基本情報

需要家	株式会社バロー
事業の実施場所	岐阜県多治見市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	株式会社バロー スーパーマーケットバロー多治見店
太陽光発電設備の導入方法	オンサイトPPA
導入設備	太陽光発電設備：460.11kW (太陽光パネルの出力) 300.00kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：193.5kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2025年2月から発電開始
総事業費(税抜)	非公表
平均の年間CO ₂ 削減率(削減量)	20.44% (167.81t-CO ₂ /年)

事業目的・概要等

PPA事業者であるJA三井エナジーソリューションズは、JA三井リースグループの一員として、経営理念「Real Challenge, Real Change.」に掲げる「より良い社会と未来のために」、企業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。また、サステナビリティ経営の重点取組課題として、「カーボンニュートラルの実現に貢献」を掲げ、循環型ビジネスモデルの構築や再生可能エネルギーの普及、脱炭素化に資するファイナンス・ソリューションの提供を通じて、持続可能な地球環境の実現を目指しています。

株式会社バローは、サステナブルな地域社会の構築と事業活動の環境負荷低減を目指し、スーパーマーケットバロー多治見店(岐阜県多治見市)にオンサイトPPA方式による太陽光発電設備(出力460.11kW)と定置用蓄電池(193.5kWh)を新設しました。本設備は2025年2月より稼働を開始し、年間約167.81t-CO₂の削減効果を見込んでいます。これはバローグループが掲げる「サステナビリティ・ビジョン2030」に基づく取り組みで、2030年度までにグループ全体のCO₂排出量40%削減を目標としています。

ストレージバティ補助金を活用した本プロジェクトでは、蓄電池導入による経済的メリットを最大化。災害時には非常用電源を確保できる設計となっており、地域の災害拠点としての役割も担います。スーパー業界特有の冷蔵設備や照明需要に応える「エネルギーの地産地消」を実現し、お客様や取引先・従業員と共に持続可能な社会を推進します

今後の再エネ導入に向けた取り組み

バローグループは、今後も再生可能エネルギーの導入を積極的に拡大していきます。補助事業の特徴である「太陽光発電と蓄電池の一体導入」「自家消費率50%以上」などを広い屋根を生かして、可能な限り店舗ごとのエネルギー自立度とレジリエンスを高めます。これにより、電力コストの安定化や高騰リスクの低減だけでなく、災害時の災害拠点として非常用電源の確保ができる店舗を目指します。

今後は新店舗だけでなく、既存店舗への段階的な設備導入も推進し、グループ全体でのCO₂削減とエネルギーコスト削減を両立させます。また、補助事業の活用による初期投資負担の軽減は、積極的な設備更新や省エネ対策の加速にもつながりますので、サプライチェーン全体での環境負荷低減や、地域企業・自治体・お客様との連携を深め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。バローは、すべての関係者とともに、未来を見据えた店舗運営と、地域に根ざした環境価値の創出に挑戦し続けます。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



パワーコンディショナー、変圧器



定置用蓄電池